

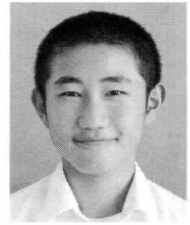


発 行

角 館 中 学 校
生徒会放送報道委員会

印刷/謄写堂印刷

生徒会テーマに込めた思い



生徒会長 荒 川 海

今年度の生徒会テーマは「躍進くやる気・元氣・根気で前進しつ

づけよう」です。ここ数年、角館中学校では「さわやかさ」を目標に掲げ生徒会活動を行ってきました。朝の挨拶、授業開始の挨拶をはじめ、はきはきと若者らしい対応ができる中学生を目指して諸活動に取り組んできました。

今年度はこれに「粘り強さ」を付け加えていくことになりました。きっかけは校長先生のお話です。「勉強でも部活動でも、力をつけていくためには粘り強く取り組んで行くことが必要だ。毎日コツコツと努力を継続出来る角中を目指そう」。校長先生のお話が私たちに

の心に残り、「さわやかさ+粘り強さ」を基本とした今年度の生徒会テーマができあがりました。年度途中の今、このテーマを振り返ってみると、部活動面では各部とも粘り強さが身に付いてきているような気がします。劣勢でも最後まで諦めず声を出し相手に向かっていく姿が見られました。最後の郡市総体は各部とも納得のいく戦いをする事ができたと思います。

他方学習面では、僕自身も含めてまだまだ粘り強さが足りないと感じます。少し難しい問題にぶつかるとすぐに諦めたり答えを見たりしてしまつて、最後まで頑張り抜くことができません。三年生が生活している二階ホールには次のような言葉が掲示されています。「楽しいからやるのではない、一

生懸命やるから楽しいのだ。」この言葉を見る度に、僕は自分自身を奮い立たせています。角中は伝統的に勢いのある学校です。「オイサ、オイサ」のかけ声が角中の真骨頂です。これに加えて粘り強さを鍛えていくことで角中はさらに前へ前進していくことができます。「躍進くやる気・元氣・根気で前進しつづけよう」、このテーマを深く心に刻み、角中をさらによい学校にしていきたいと思ひます。

一日一日を大切に

生徒会副会長 高 橋 みなみ

新生徒会になり、私たち生徒会執行部は様々な取り組みをしてきました。あいさつ運動では、元氣なあいさつをしてきたと思います。より多くなってきたと思います。しかし、気をぬかず、日々元氣なあいさつをしてほしいと思います。昨年、私たちは新しく生徒会の活動として、「校歌をしっかり歌おう集会」を行いました。その集会のときは全校生徒がしっかりと歌っていたと思ひますが、それ

は長続きせず、元に戻つてしまつたと思ひます。校歌は私たち角中の誇りです。だから、胸を張つて歌うことができるようになるまで活動をしていきたいと思ひます。六月からは「はだしの清掃」が始まりました。この清掃をしっかりとやり、これからは校舎をきれいにしていってほしいと思ひます。さて、角中では郡総体が終わりに落ち着いた日々を過ごしています。三年生は、入試へ向けての勉強が



スタートしました。二年生は、次の角中のリーダーとしての自覚が芽生えてくる頃でしょう。一年生は、ようやく学校に慣れ、余裕を持てる時期でしょうか。一日一日を大切に、後悔することのない日々を過ごしましょう。これから後半戦に向け、大きく躍進しましょう。

責任を感じた 中学校生活

一年代表委員 高 貝 優 陽

私達、一年生は入学してから三カ月が経ちました。その間、多くのことを頑張ってきました。その中でも特に代表委員として頑張ったことは、学年ネームを決めたことでした。中学校生活の三年間を決めるものなので、とても責任を感じました。そして、決まった学年ネームが紅駿学年という名前です。紅駿の紅は学年カラーの赤をイメージしました。駿は何事にも取りかかりを早くするという意味です。紅駿学年が次に頑張っていきたいことは、あいさつとベル着です。一年代表委員として、責任をもって注意していきたいと思ひます。

二年生での活動

一年代表委員 竹 内 達 志

一年生が入学し、中学校生活初の先輩になって三ヶ月が過ぎました。先輩として後輩にお手本を見せるために、青嶺学年では学年代表委員で企画した、「H H A K 60」や「六月の目標」にそつて活動をしました。特に六月は総体があり皆を部活へ早く行かせる、「部活へ即ゴー!」という企画を立てると、皆がすぐに部活へ行くようになりました。このような活動に積極的に取り組んでいくことによつて、少しずつ先輩としての自覚をもつていけたらいいと思ひます。そして、さわやかな角中生を目指して頑張りたいです。

今年度の取り組み

三年代表委員 佐々木虎太郎

翠明学年が三年生になって三ヶ月が過ぎました。三年生の目標は「あはは60.7.11爽やか気分」です。今年度は昨年度に引き続き毎週金曜日の放課後に各学級の委員長副委員長が集まり「翠明サミット」という会議を行っています。翠明サミットとは一週間の振り返りなどをしています。この前、総体がありましたね。総体の前の学年目標は「部活に早く行く」という目標を立てて、委員長、副委員長が呼びかけをしました。そのお陰で、部活の時間が増えたと思います。これからは部活も終わり自分達の進路に向かって翠明学年みんなが頑張っていきたいです。

委員会活動

生活交安委員長として

生活交安委員会 鈴木 佳偉

二年生の後期から生活交安委員長として活動を行ってきました。今年の生活交安委員会の常時活動は、昨年から取り組んできた、毎週月曜日の服装チェック、毎日の放課後の教室の見回り、そして、街頭指導です。今年からは自転車の規則を守らなかつた人を注意をする活動も新しく始めました。だ

いぶ服装が乱れている人が減ってきていますが、まだいますので、さらに改善していきたいです。自転車の規則を破って注意される人は一二年生が多いので、この点も、改善していきたいです。

これからの残りの期間で、もっと決まりやマナーを守って生活していきたいように活動を頑張っていきたいです。



授業態度向上を目指して

学習委員会 渡邊 朋樹

学習委員会では常時活動の置き勉チェック、ラブリーチェック、予想問題作成を頑張ってきました。置き勉チェックでは抜き打ち置き勉チェックを行ったり、学習委員が厳しくチェックしてくれたおかげで前よりも置き勉が減りました。

ラブリーチェックも昨年度に、ベストクラスグランプリを行ったので授業態度が良くなり、各クラス全体的に高得点を取ることができました。

学習委員会ではこれからも角中の授業態度向上を目指して活動していきます。そのため委員全員で協力して常時活動を忘れずに徹底して行っていきます。

今までの活動を振り返って

整美委員会 佐藤 正磨

整美委員会の主な仕事は、黒板消しクリーナーの掃除や長期休業前の下足棚の掃除などです。黒板消しクリーナーは、毎年生徒総会でスポンジなどがセットされてな

いという事を言われます。なので今年、そのことで注意を受けたいように委員会ですっかりと話合

合って改善していきたいです。そして、今年から校内のクリーンアップという活動を行います。今

年の校内がキレイになるよう整美委員と全校のみんなで頑張っていきたいです。私が委員長として委員会を引っ張っていくのは、あと四カ月なので気を引き締めて頑張っていきたい

前半の振り返りとして

体育委員会 佐々木将人

体育委員会の活動は、校内記録会の運営と、常時活動としては、体育館開放の見回りがあります。

五月に行われた校内記録会では、生徒一人一人がクラスのために全力を出し、大成功となりました。体育委員会としても、それぞれが仕事に責任をもち、スムーズに運営することができました。来年度の記録会も成功することを期待しています。

体育館の見回りでは、生徒のみなさんが健康的に楽しめるように安全面での協力をしました。

今後も責任感をもって、委員会活動を活性化させていきたいと思っています。

読書好きを増やすために

図書委員会 阿部 桃子

図書委員会は、カウンター当番とプロジェクト班の活動を行っています。プロジェクト班の活動として図書室に特集コーナーをつくったり、図書室だよりを発行したりしています。

今年、昨年度に引き続き「読書好きを増やそう」を目標に活動をしています。春に行ったアンケートでは「読書が好き」という生徒が多く、全国平均を上回るほどでした。これからは生徒全員に読書が好きと思ってもらえるよう頑張ります。そして、生徒に気持ち良く読書

をしてもらえるような環境づくりに努めていきたいです。

全校に役立つ活動を

給食委員会 佐藤 里花

二年生の後期に委員長になってからもう半年以上経ちました。不安ばかりで頼りなかつた私が、先生・先輩方のおかげで今では、委員長としての役割りを果たせていると思います。

給食委員会は今年度から、新しく「タイムバトルウィーク」を実施しています。給食準備がはやくなり、給食準備の大切さも理解できる活動です。この活動を行ってからはエプロン・三角巾・マスクの着用率が上がりました。こうした成果が見られるとうれしいです。これからも全校に役立つような活動を一生懸命考えていきます。

保健委員会の成果と課題

保健委員会 伊藤亜莉沙

私は二年生の後期から保健委員長として活動してきました。私は全体をまとめ積極的な活動が出来るように心がけています。

保健委員会では主にハンカチ・ティッシュ調べ健康観察カードの記入、石けん補充、風邪予防の呼びかけ等を常時活動として頑張っています。ハンカチティッシュ調べでは成果がみられ所持率100%のクラスが多くなりました。風邪予防の呼びかけでは放送の他にポス

情熱をもち、粘り強く、強く引き抜ける！
 紅駿

心をつなぎ、頂を目指そう
 青嶺

進め翠明！輝く道を
 翠明



ターを書き校内に掲示しています。石けん補充に関しては曜日ごとに係を決めています。忘れる人が多いようです。そこで三年生が中心として点検し声をかけるようにしています。

全校のみなさんが健康な生活を送れるようにがんばります。



購買委員会ができること

購買委員会 太田 万葵

私は二年生の後期から購買委員長として活動してきました。初めは何をすればいいのか分からず、とまどってばかりでした。しかし、他の委員会の活動を見ていると、購買委員会が角中生に協力できる機会が少ない事に気づきました。

そこで私は、せめて全校生徒の皆様にも気持ち良く利用してもらおうことはもちろん、セールなど喜ぶ企画を増やそうと考えました。去年のクリスマスセールは成功し、今年も行いたいと思います。ですが、まだ時間厳守ができていなかったり忘れる人も多いので改善していきます。購買委員会ができる事を精一杯頑張っていきたいです。



JRC活動を振り返って

JRC委員会 石川 飛翔

JRC委員会では昨年度前委員長から引き継いだ常時活動をより良くすることを中心に頑張ってきました。

例をあげるとエコキャップ回収強化週間に月に一回行うなどのことです。

しかし、この活動は最初はみんなが一生懸命持って来ようとしたが、後半は回収率が極端に落ちるといった問題があったので、JRC委員が全体的に呼びかけなければいけないと思いました。

これからもJRC委員会はエコキャップ・アルミ缶の回収などの企画や、各種募金などの活動を行っていくのでJRC活動へのご協力をお願いします。



これからの委員会

放送報道委員会 黒坂 愛

委員長として、二年生の後期から放送報道委員会で活動してきました。人前に立つたり指示を出したりするのが苦手な私は、うまくやっていたりかとても不安でした。常時活動はある程度出来ているので良いのですが、改善しなければならぬ点はたくさんあると考えています。特に目立っていることは放送内容のマンネリ化です。

専門委員会が行われるたび、話し合いをして案を出していますが、実行に移せるほど確かな案ではありません。全校のみんなに楽しんでもらえるような放送をなるべく早く出来るようにしたいです。残り少ない任期を精一杯努め、次の委員長にしっかりと引き渡せるように頑張ります。



郡総体を終えて

大会を終えて

野球部 古郡 勇太

私達野球部は、普段通りのプレーを心がけ、試合に臨みました。

初戦の豊成中学校との試合は、緊張している中で試合でしたが、ボールをしっかり見極めて打つことができました。準決勝の生保内戦は、先制点をとり、私達のリズムで試合をしていきましたが一つのプレーで、相手のリズムになってしまいました。結果は、六―一で負けてしまいました。たった一つのプレーで流れが変わる勝負の世界の厳しさを実感しました。

しかし、この負けによって、これからつながるたくさんのお得た気がします。それを忘れず、これからの生活をよりよいものにしていきたいと思います。

応援して下さい。先生方、生徒の皆さん、暑い中本当にありがとうございました。



ボールを追い続けた総体

男子バスケットボール部 青柳 宗愛

私たち男子バスケットボール部は「全県出場」が目標でした。初戦は美郷中学校でした。出だしが中々シュートが入らず、逆に相手にシュートチャンスを与えてしまいました。しかし、どんなに点数が離れてもあきらめませんでした。二試合目の大曲中学校では悔い

を少なくするよう思いきり戦いました。相手は、自分たち以上に体格も大きい上にスピードもあり、

攻撃において劣勢に立たされました。それでも自分たちが守備を抜いたり、シュートを決めたりできた場面をつくることができました。

二試合とも負けて悔しかったけど今まで誰にも負けたくないという気持ちで努力してきた良かったと思えました。三年生は終わってしまったけど、先輩に自分たちのバスケ魂を引きついでもらいたいです。最後になりましたが、これまで協力・応援をいただいた保護者に心から感謝したいです。

一点の重み

女子バスケットボール部 日辻 聡子

私たち女子バスケットボール部は、全県大会出場の切符を手に入れることができました。しかし、四位通過というギリギリの結果でした。決勝リーグの大曲と美郷戦では、どちらも一点差で負けてしまいました。その時、みんなそれぞれ「あの時の自分の一点が入ってれば…」と悔し涙を流していました。でも一点でも負けは負けです。一点がこんなにも大事だということに身にしみてわかりました。

私達の夏はまだ終わっていません。全県大会では、一人一人が自分のやるべき事に責任を持ち、一点を大切に勝ち進んでいきたいと思います。



総体を振り返って

バレーボール部 藤川 絢香

郡総体は三年生にとって、集大成となる最後の大会でした。私たちバレー部は全県大会出場を目標に頑張ってきました。

一日目は、美郷戦でした。美郷との試合では、思うようなプレーができず、負けてしまいました。二日目は、松木内戦でした。この試合で負ければ終わりだったのに、選手も監督も力を合わせて、全員バレーをすることができました。結果は負けてしまいましたが、チーム全員の力を出し切ることができました。先輩の力を借りなければ試合をすることができなかつたし、親にも送迎などをしてもらって、ここまでくることができました。今まで、ありがとうございました。

総体を振り返って

男子ソフトテニス部 青山 棕

総体の一日目は、団体戦でした。仙北中と西明寺中とあたり、西明寺には三―〇で勝ち、仙北中には一―二で負けてしまい、二位通過で決勝リーグへ進みました。決勝リーグでは、一回戦で大曲中と戦い、負けてしまいました。二日目は個人戦でした。三日目に残ったのは二ペアでした。惜しくも、あと一步で負けた人もいました。

その二ペアは、見事ベスト8に入り全県大会への切符をつかみました。総体では、全員が自分のもっている力を出し切り最高のプレー



が出来たと思います。今まで応援して下さったみなさんありがとうございました。



闘い抜いた三年間

女子ソフトテニス部 太田 万葵

団体戦では、最悪の状態です。試合が始まりました。とりあえず予選は二位通過、辛くも決勝リーグ進出しました。しかし、皆の団結力は強く、素晴らしい試合でした。

個人戦では、皆惜しいところで負けてしまい、全県大会出場が決まったのは一ペアとなりました。

精一杯頑張った瞬間、いつも後強い相手に勝った瞬間、これからも忘れることはないでしょう。私達は三年間、大きく成長しました。頼りない主将でしたが、どんな状況でもあきらめず戦った仲間を支えて下さった保護者の方々、本当にありがとうございました。



全県大会へ向けて

男子卓球部 藤澤 和

僕は春季大会で全県大会へ行く事ができませんでした。その悔しさをバネにして郡総体で優勝する事ができました。

男子卓球部の優勝は十一年ぶりという事なのでこの調子で全県大会も優勝し東北大会へ出場したいです。後、全県大会まで数日しかありませんが今までの集大成になるようにがんばりたいです。個人

戦では、三人全県大会へ出場する事ができたので、一試合でも多く勝ちたいです。

四月から監督をしていただいている鈴木先生に喜んでもらえるようにがんばりたいです。そして、今まで支えてくれた保護者の方々、本当にありがとうございました。



全県へ向けて

女子卓球部 伊藤亜莉沙

私たちが女子卓球部は、新チームになってから東北大会出場を目標にして日々の練習を頑張ってきました。たくさんの指導者の方々、保護者の方々に支えられ郡総体では三位で全県大会に出場することができました。しかし、郡総体ではあまり自分達のプレーを充分に発揮することができませんでした。

県大会では、郡総体での反省を活かして、一人一人が自分のプレーを発揮し、どんな場面でも大きな声を出して相手に向かっていきたいです。そして、チーム全体が一丸となって、最後まであきらめず、粘り強いプレーで勝ち進んでいきたいです。

応援よろしくお願いします。



出し切った力

サッカー部 藤枝 慶正

私たちサッカー部は、全県出場を目標にして練習を頑張ってきました。総体では、目標を達成することができませんでした。

三年間の思い

柔道部 松本 愛未

私たちは、美郷中と大曲中に負けてしまいました。負けた瞬間はとても悔しく、涙も流しました。しかし、今振り返ってみると、負けたことは悔しいけれど、それよりも総体に向けて頑張ってきたことに意味があると思います。総体までの期間には、とても苦しい練習もありました。しかし、それを仲間の力を借りながら励まし合いながら頑張りました。それにより仲間の大切さに気付かされました。今までの努力を忘れずにこれから生活をしていきたいです。



郡総体を終えて

剣道部 小野 冬威

私の最後の郡総体では、個人戦は三回戦で敗退しました。団体戦は去年と同じく生保内中、西仙北中の人たちとの合同チームで五試合を戦いました。結果は四勝一敗でした。オーブン参加でなければ二位という好成績です。剣道をやってきて今までにない喜びで一つの区切りをつけることができました。

私は、二年生から剣道に復帰し一年間でこれだけ強くなれた自分に自信がもてました。一年生の二人には残りの二年間、練習をしっかり続けて強くならしてもらいたいです。

これから部員は二人になってしまいますが、私がサポートするの新人戦ではいい試合をして次の大会などにつなげてほしいです。



を入れて、悔いの残らないように、全力で泳いでいきます。



全県までの課題

バドミントン部 太田 出雲

僕たちは、これまで郡総体や全県総体に向け、自分たちの弱点の技を中心に練習してきました。今回の郡総体を終えて、まだ練習の足りない部分や良かった部分、また新たな課題も見つかりました。

全県までの課題は、レシーブやドロップ、スマッシュなどの攻撃技の強化やコースなどさまざまなありました。全県までに達成できるようにしたいです。

全県には、昨年のように競技人口が少ないため出場することができません。そのため、郡総体の無念を晴らし、勝ち進めるように頑張りたいと思います。

これからも御指導と応援よろしくお願いします。



私にとつての郡市総体とは通過点であり、本当の本番は東北・全大会の予選も兼ねている全県総体です。

今年の全県総体は昨年と同じく五十メートルと百メートルの自由形に出場します。自由形の短距離は選手層がとて厚く、百分の一秒を争う激戦区です。昨年は運良くタッチの差で東北大会出場を決めることができましたが、今年は昨年よりもレベルの高い選手が揃っているのが厳しいレースが予想されます。だから今年の県総体は今まで以上に他の誰よりも気合